

2

表は、セキツイ動物を、その特徴で A～Eのグループに整理したもの的一部分である。また、下の□内は、写真のセキツイ動物を、表のA～Eのグループに分類しているときの希さんと明さんと先生の会話の一部である。

表

グループ	A	B	C	D	E
特徴					
子のうまれ方	らんせい 卵生	卵生	卵生	卵生	たいせい 胎生
呼吸のしかた	えら呼吸	子…(ア) おとな…(イ)	肺呼吸	肺呼吸	肺呼吸

先生 「写真の動物は、表のどのグループに分類できますか。」

希 「子のうまれ方が、ウサギは胎生なのでEグループに分類できます。」

明 「呼吸のしかたが、メダカはえら呼吸なのでAグループに、カエルは子のとき(ア)で、おとなのとき(イ)なのでBグループに分類できます。でも、子のうまれ方や呼吸のしかただけでは、ハトとトカゲを分類できません。」

先生 「その他の特徴も考えてみてはどうですか。」

明 「体の表面のようすから、ハトとトカゲをそれぞれグループに分類できます。」

希 「他にも(ウ)から、ハトとトカゲをそれぞれグループに分類できます。」

先生 「よく気づきましたね。」

写真



問1 表の(ア)、(イ)にあてはまる呼吸のしかたを、それぞれ書け。

問2 会話文中の(ウ)にあてはまるセキツイ動物の特徴を、1つ簡潔に書け。

問3 下の□内は、学習後、セキツイ動物の特徴のちがいに興味をもった希さんが、セキツイ動物の骨格と、そのはたらきについて調べた内容の一部である。図は、セキツイ動物の骨格を模式的に示したものである。文中の(①)、(②)に、適切な語句を入れよ。

図のように、コウモリの翼、クジラの胸びれの骨格には、ヒトの手と腕にあたる部分がある。このように、同じものから変化したと考えられる体の部分を(①)といい、生物が長い時間をかけて、多くの世代を重ねる間に変化する(②)の証拠の1つであると考えられている。

